

# 謹んで新年の御祝詞を申し上げます

旧年中は雪印の種苗、飼料に対し絶大な御愛顧、御引立てを賜りましたことを衷心より御礼申し上げます。

わが国の酪農の進展は真にめざましいものがありますが、来るべき貿易の自由化に伴い、安価な乳肉製品が大量に輸入される見透しに立って、畜産物の価格安定に関連し、酪農振興法の改正にまで大きく政治問題として発展したことは、業界注目の的となっております。

その原因と対策については、多くの場所や、いろいろな方法で論せられてきましたか、つまるところ、あらゆる部面のコスト引下げが行なわれなければ、輸入に対抗できないことになるわけでありませぬ。

いまアメリカ合衆国の農業を例にとりますと、総面積は一九億エーカーで、このうち農地総面積は一一億六千万エーカーであり、農地は総面積の約六〇％に当たります。この農地のうち作物栽培地三五％、附帯林地七％、農場敷地と道路四％、残り五四％は草地として利用されているのであります。これを以て見ても、酪農先進国の実態と家畜飼料の自給率がいかに高いかが観われ、わが国酪農のあり方に、多くの示唆を与えることが解るのであります。

昭和三十一年元旦

また、国内における草地占有率の高いことは、整いその肥培管理に非常な熱意が持たれていることも実証していますが、その

土地に播かれる種子は、純度や発芽率の高さ、そして内容を保証された優良なものに限られていることは当然であります。種子は優良であると固く信じて播かれるばかりでなく、収穫する草質、草量は、直接家畜の飼養と経済に重要な関係を持っております。そのため、総ての畜産資材に優先して、厳格な選択が行なわれるのであります。

いまや、日本の酪農は世界の酪農と自由の市場において競争する日が近づいて来ているのであります。良い種子で、良い草を、山野余す処なく繁茂させ、面積は小さくとも、飼料の自給率に、また乳肉の価格に、先進諸国にひけをとらぬよう、日本の草地農業が安定酪農に通じる日の近いことを確信してやみません。

年頭に当たり、日頃御愛顧を戴いている皆様の御多幸と御繁栄を祈り、ここに春季特集号をお送りいたします。

取締役社長 松原 太郎

## 牧草と園芸 春季特集号 目次

表紙写真 山あいの牧場(北海道余市町)

◎今春の飼料作付計画と 頁

品種の選び方……………二

◎雪印がお奨めする 頁

春まき飼料の作物と品種……………五

◎ツナギ用青刈飼料のつくり方……………五

◎牧草地の造成と 頁

荒廃草地の更新……………六

◎サイレージ材料の作り方……………八

◎冬の健康と泌乳増進の飼料 頁

根菜類と品種……………九

◎牧草の夏枯れ対策と 頁

作りたい青刈類と品種……………一〇

◎水田での飼料作り……………二

◎暖地 春まき家畜ビートの 頁

多収な作り方……………二

◎飼料作物栽培基準表 頁

付 播種適期と可動範囲……………二

◎飼料作物優良品種一覧表……………三

◎美しい西洋芝生……………四

◎雪印配合飼料の御案内……………四

府県向 北海道向……………一四

◎豚・鶏用の飼料作り……………一五

◎酪農用ビニール製品、ペーパー……………一五

ポット ギンギン抜き器の御……………一六

紹介……………一六